

2024 年 6 月 12 日

報道関係 各位

公益財団法人 日本セーリング連盟

日本セーリング連盟、佐賀県と連携協定を締結
SAGAスポーツピラミッド構想でセーリングの振興を加速



締結文書に調印した馬場益弘 JSAF 会長（左）と山口祥義佐賀県知事

公益財団法人日本セーリング連盟（東京都新宿区、会長・馬場益弘、以下JSAF）はこの度、佐賀県と「SSP（SAGAスポーツピラミッド）構想」に関する連携協定を締結いたしました。

SSP構想 (<https://ssp.saga.jp/>) は、世界に挑戦する佐賀ゆかりのトップアスリートの育成と、県民がスポーツの「する」「育てる」「観る」「支える」「稼ぐ」のいずれかに何かしらの形で関わり、スポーツ文化の裾野を広げることを目的に2018年にスタートしたプロジェクトで、スポーツのチカラを活かした「人づくり」「地域づくり」を進める構想です。

JSAFは今後「SSP構想」に基づき佐賀県と連携しながら、セーリング競技の人材発掘、育成、強化、選手のセカンドキャリア支援、さらに生涯スポーツとしてのセーリング振興などに取り組んでいきます。

佐賀県はセーリングと縁の深い場所です。日本勢として初めてオリンピックのセーリング競技でメダルを獲得した重由美子さん（アトランタ五輪女子470級銀メダリスト、故人）は唐津の海で育ったセーラーです。また、その後も、ロンドン五輪に出場（男子470級）し、アメリカズカップ（ソフトバンクチームジャパン）にも挑戦した吉田雄悟さん、東京五輪に出場（ILCA7）の南里研二さん、はじめ、多くの優秀なセーラーを輩出しています。また、今年7月に開幕するパリ五輪には、高校時代に重さんの指導を受けた岡田奎樹選手（佐賀県立唐津西高校卒）が男女混合470級で出場します。

【本件に関するお問い合わせ先】

日本セーリング連盟広報委員会 kohou@jsaf.or.jp
JSAF 公式サイト <https://www.jsaf.or.jp/>